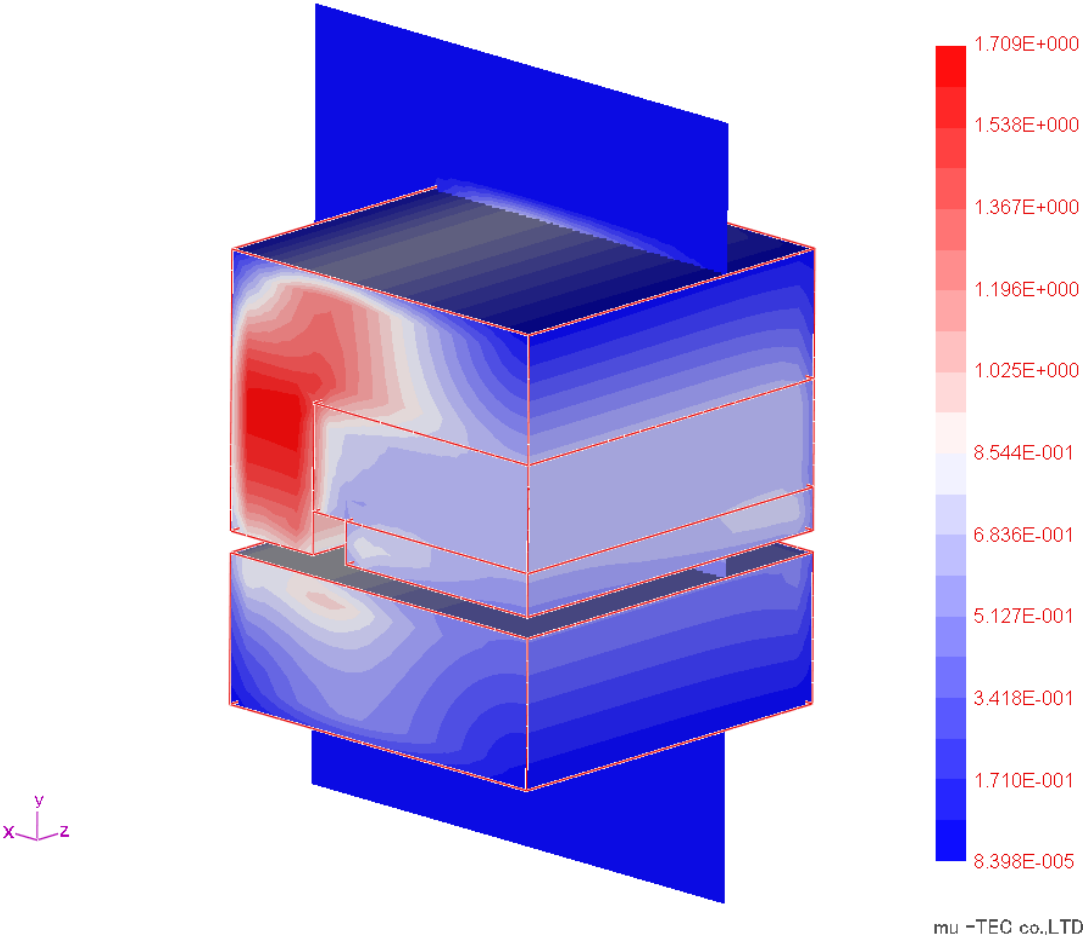


Analysis example collection-61

Result display by MFGUI

MFGUI



Example61- Result display by MFGUI

目次

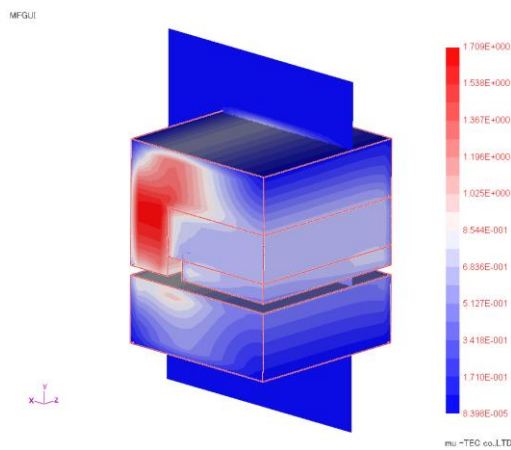
項目	章	タイトル
モデル	1	概要
	1.1	モデルの説明
起動	2	MFGUIの結果表示
	2.1	Master の起動
	2.2	MFGUIの起動
	2.3	アウトプットファイルの読み込み
基本操作	3	基本操作
	3.1	マウス操作
	3.2	画面構成
	3.3	Pre 画面の基本操作
	3.4	Post 画面の基本操作
	3.5	グルーピング
	3.6	等高線
	3.7	ベクトル
	3.8	磁束線
	3.9	任意断面
	3.10	グラフ表示
	3.11	終了

Example61- Result display by MFGUI

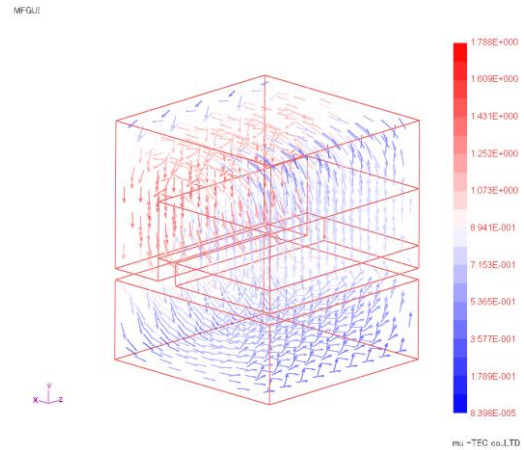
Example61- Result display by MFGUI

1 概要

3次元の吸引力計算を例題 example/example61-ツール-MFGUI を利用して、結果表示モジュールMFGUIの使用法を説明します。



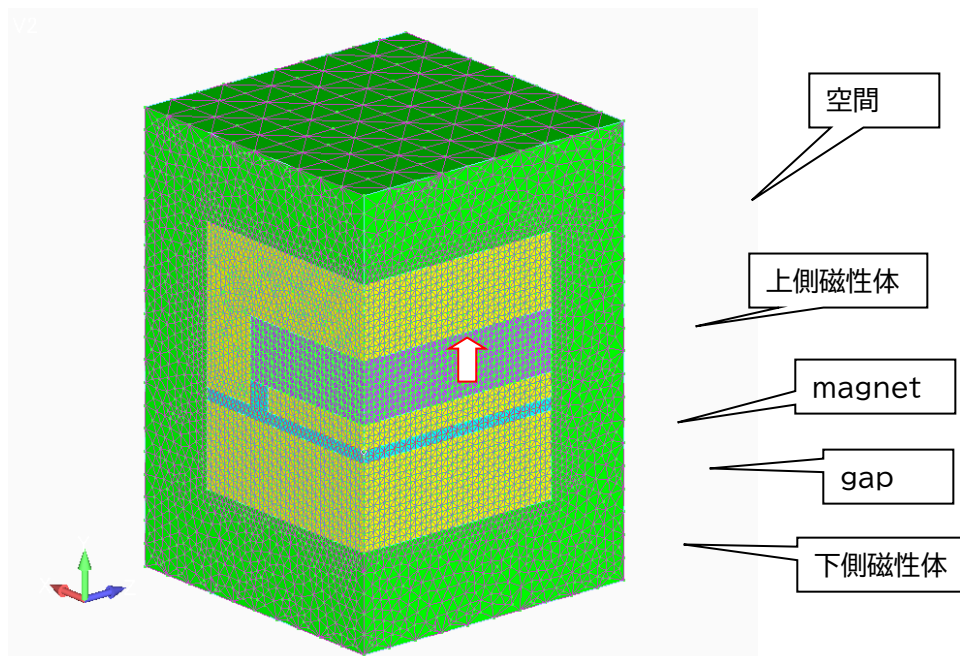
磁束密度等高線と任意断面表示



磁束密度ベクトル表示

1.1 モデルの説明

Magnet を組み込んだ上側磁性体とした側磁性体の吸引力解析です(1/4モデル)



Example61- Result display by MFGUI

2 MFGUIの結果表示

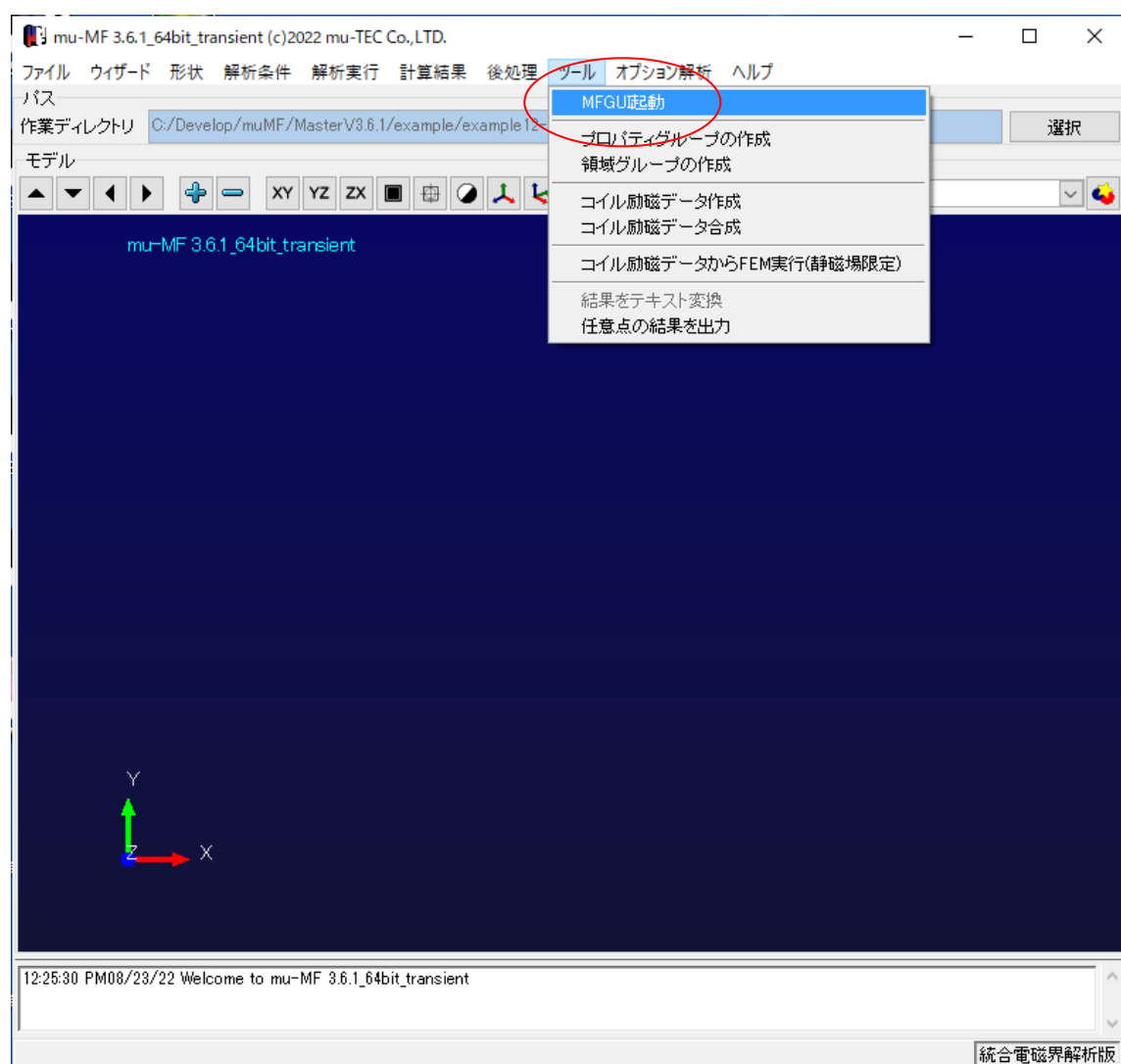
2.1 Master の起動

インストール時に作成されたデスクトップ上のアイコンをクリックして Master を立ち上げてください。

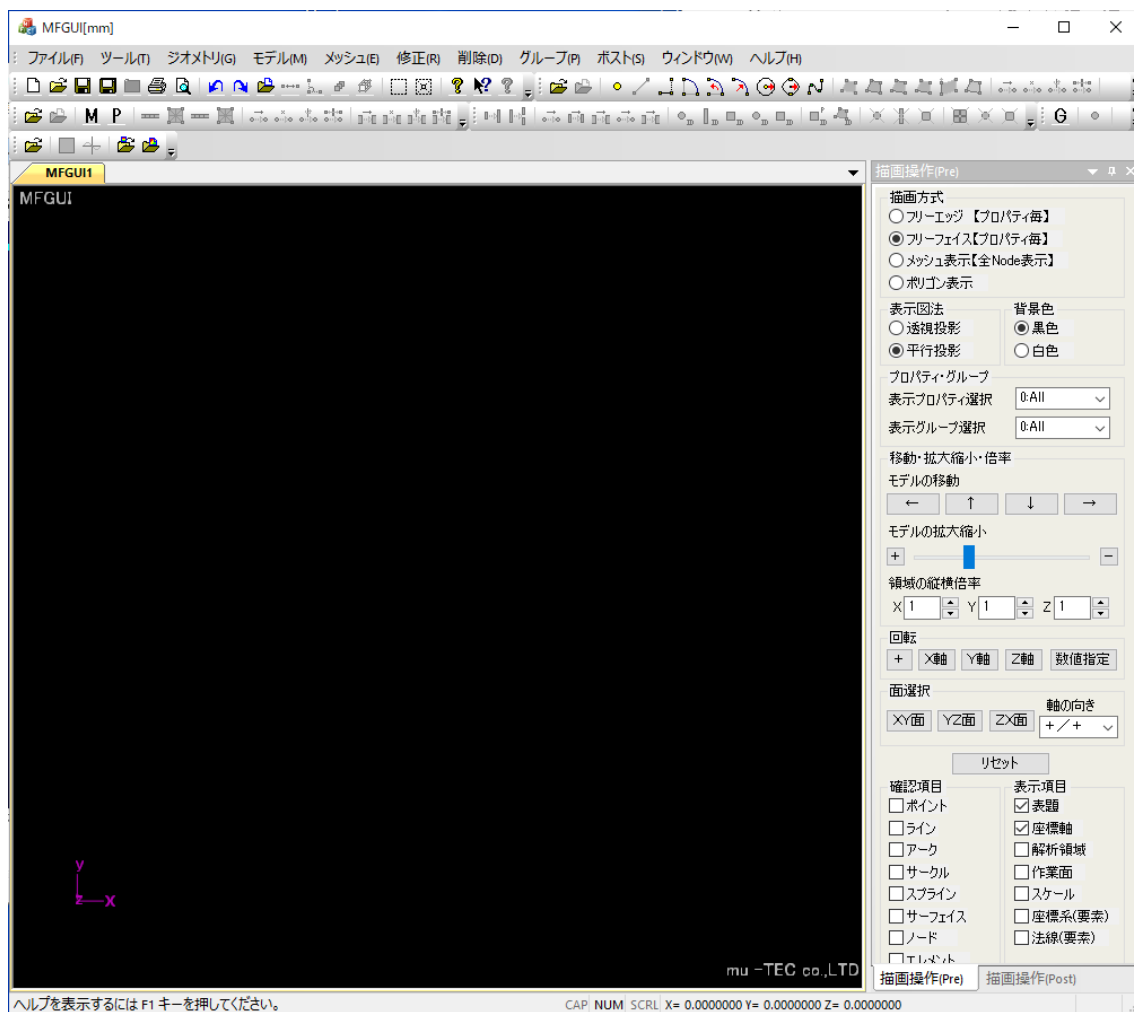


2.2 MFGUIの起動

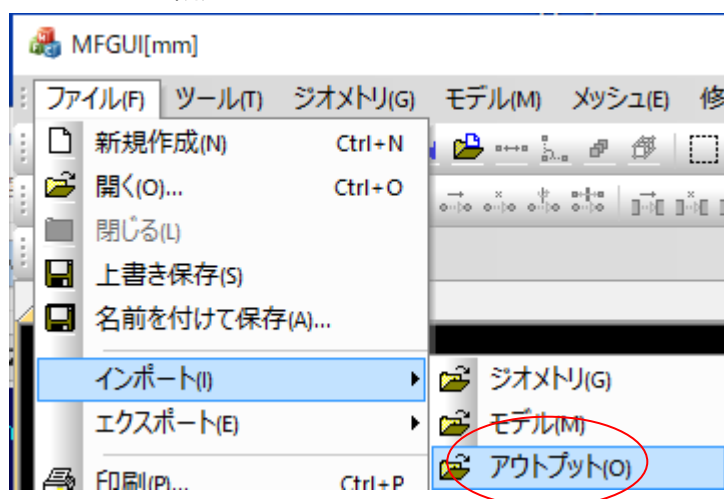
MFGUI 起動 ボタンで表示が始まります



Example61- Result display by MFGUI

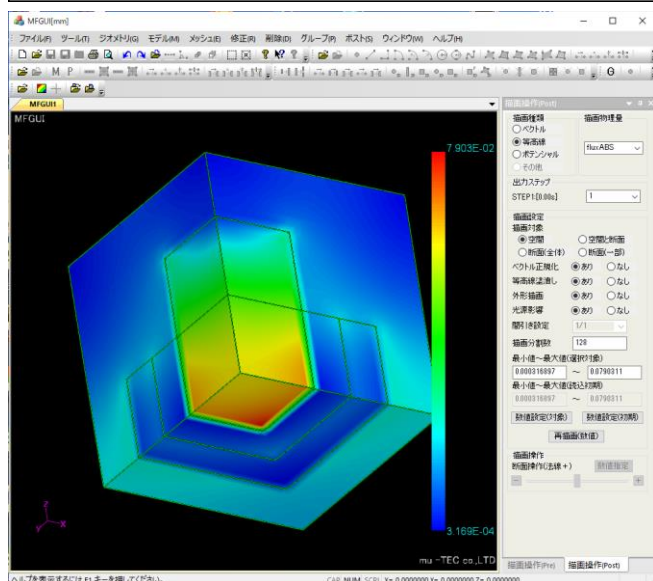
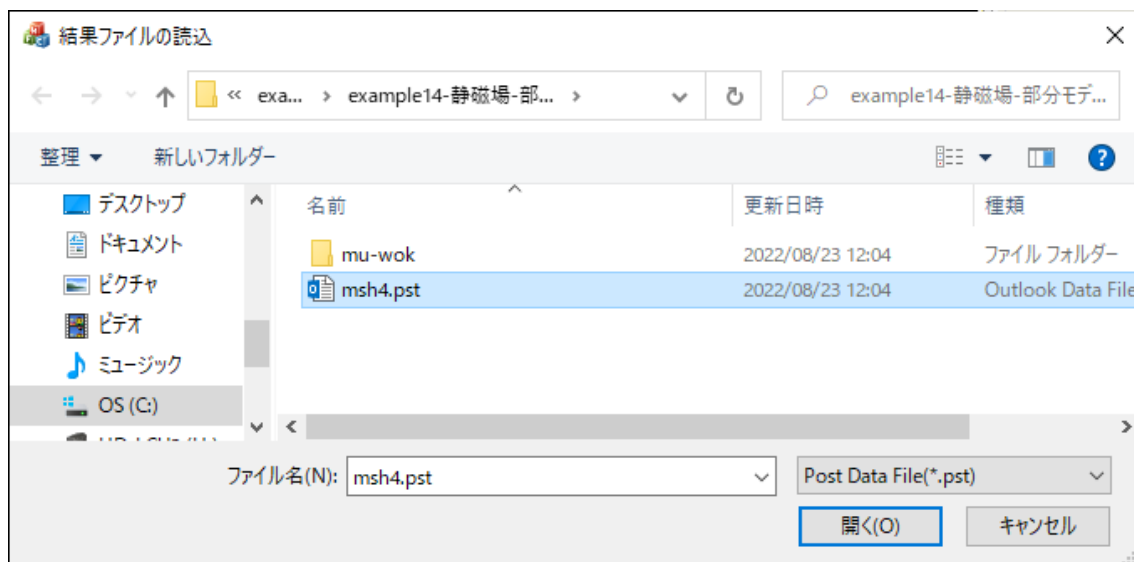
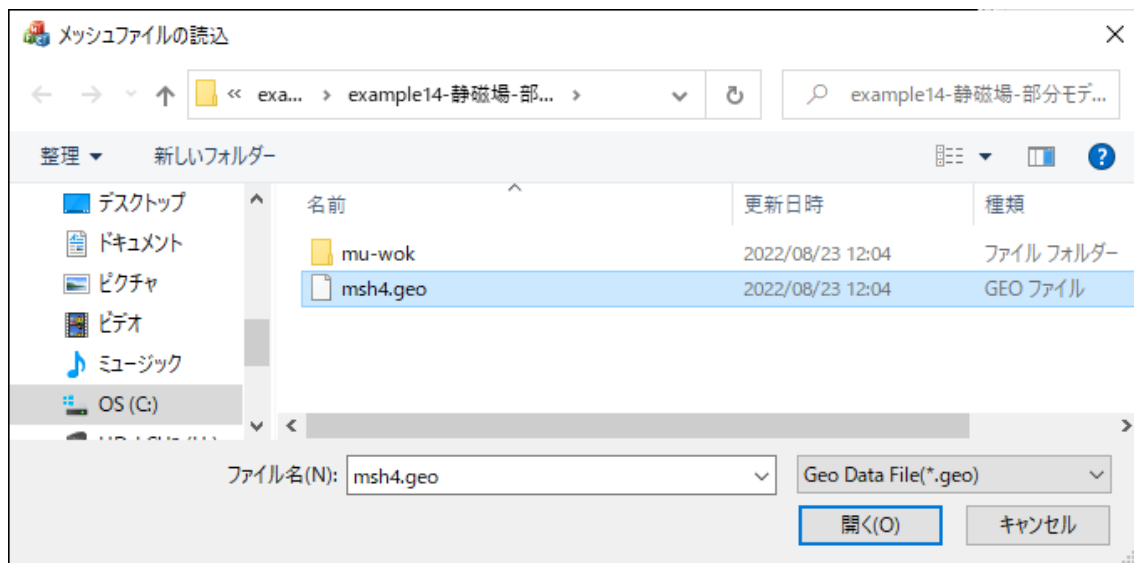


2.3 アウトプットファイルの読み込み



※*.pst ファイルは計算終了時に出力されます

Example61- Result display by MFGUI



Example61- Result display by MFGUI

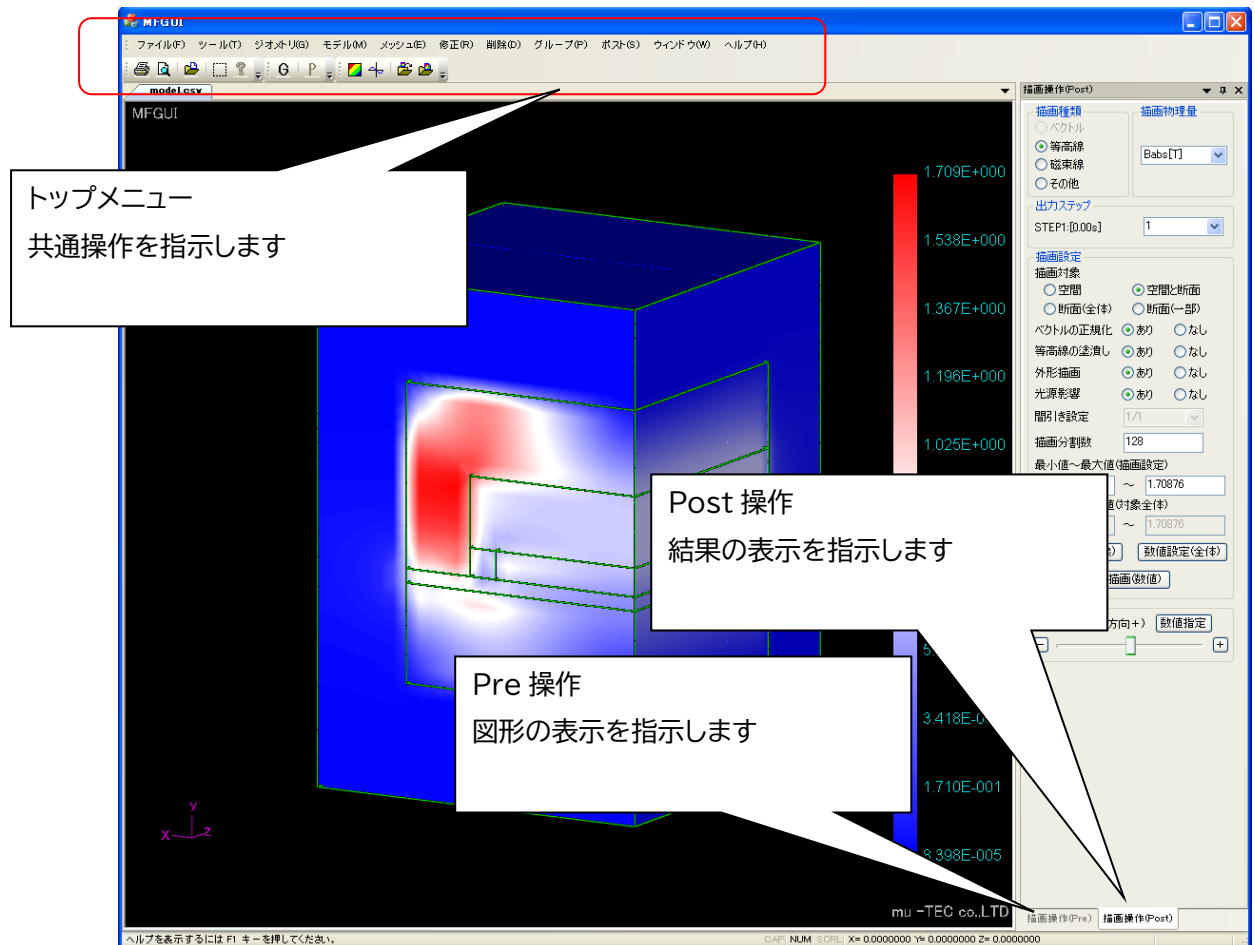
3 基本操作

3.1 マウス操作

左ボタンで回転、中ボタンで拡大縮小です

3.2 画面構成

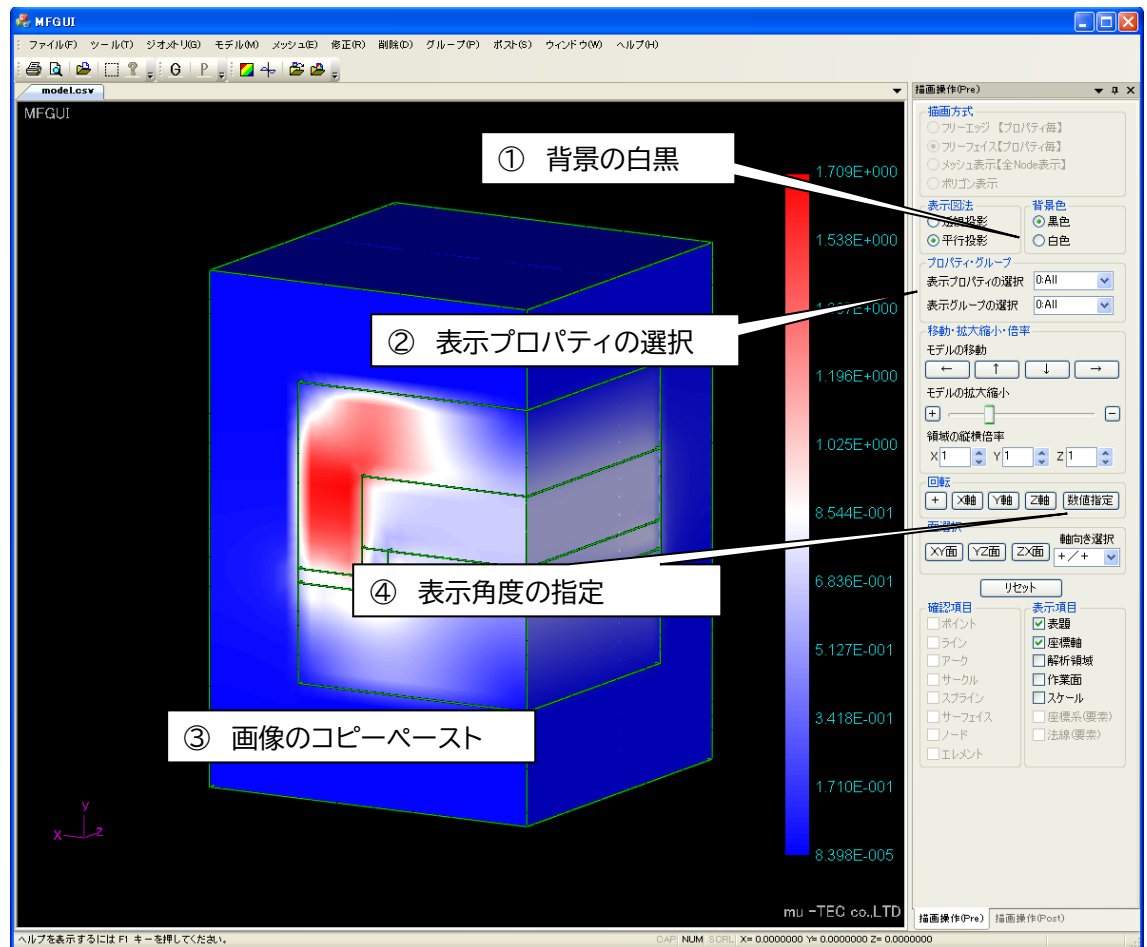
右下のボタンで Pre/Post の操作メニューが変わります



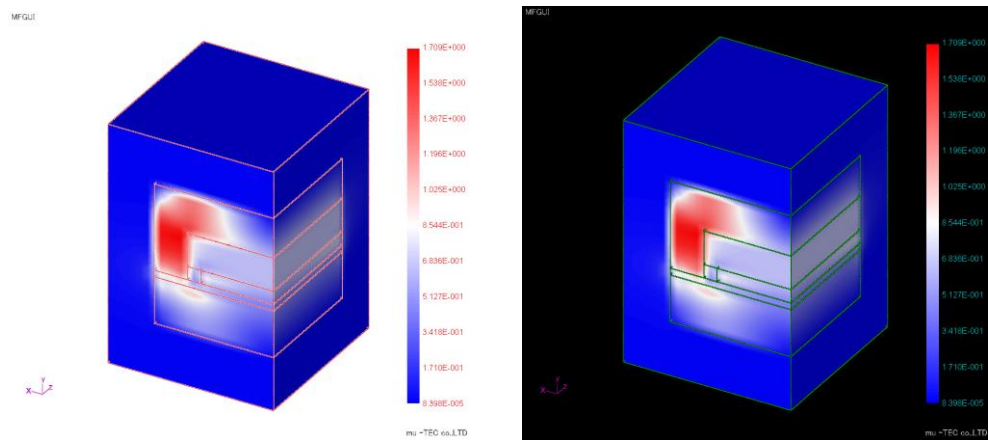
Example61- Result display by MFGUI

3.3 Pre 画面の基本操作

よく利用する操作を示します

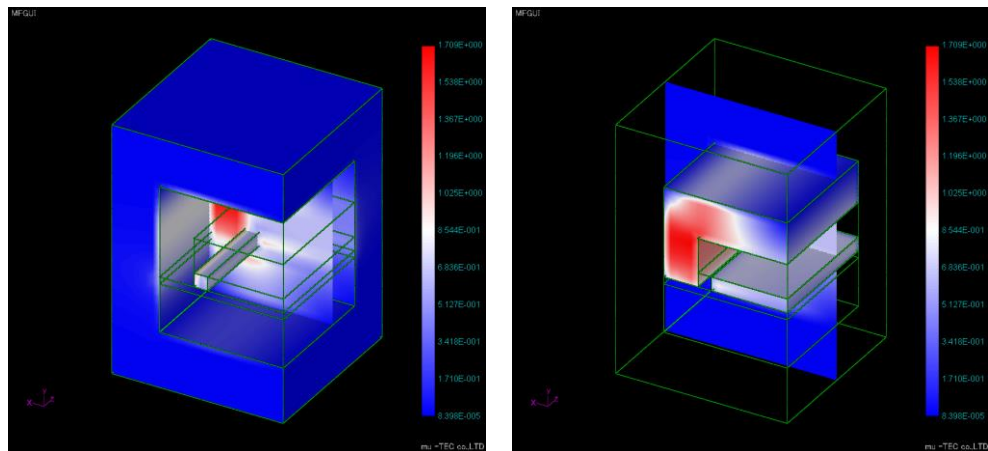


① 背景の白黒



Example61- Result display by MFGUI

② 表示プロパティの選択



③ 表示角度の指定

任意回転

X軸回転	30	等角	回転中心	X座標	1.25
Y軸回転	150	二等角	Y座標	0.2	
Z軸回転	0	不等角	Z座標	1.25	

OK キャンセル

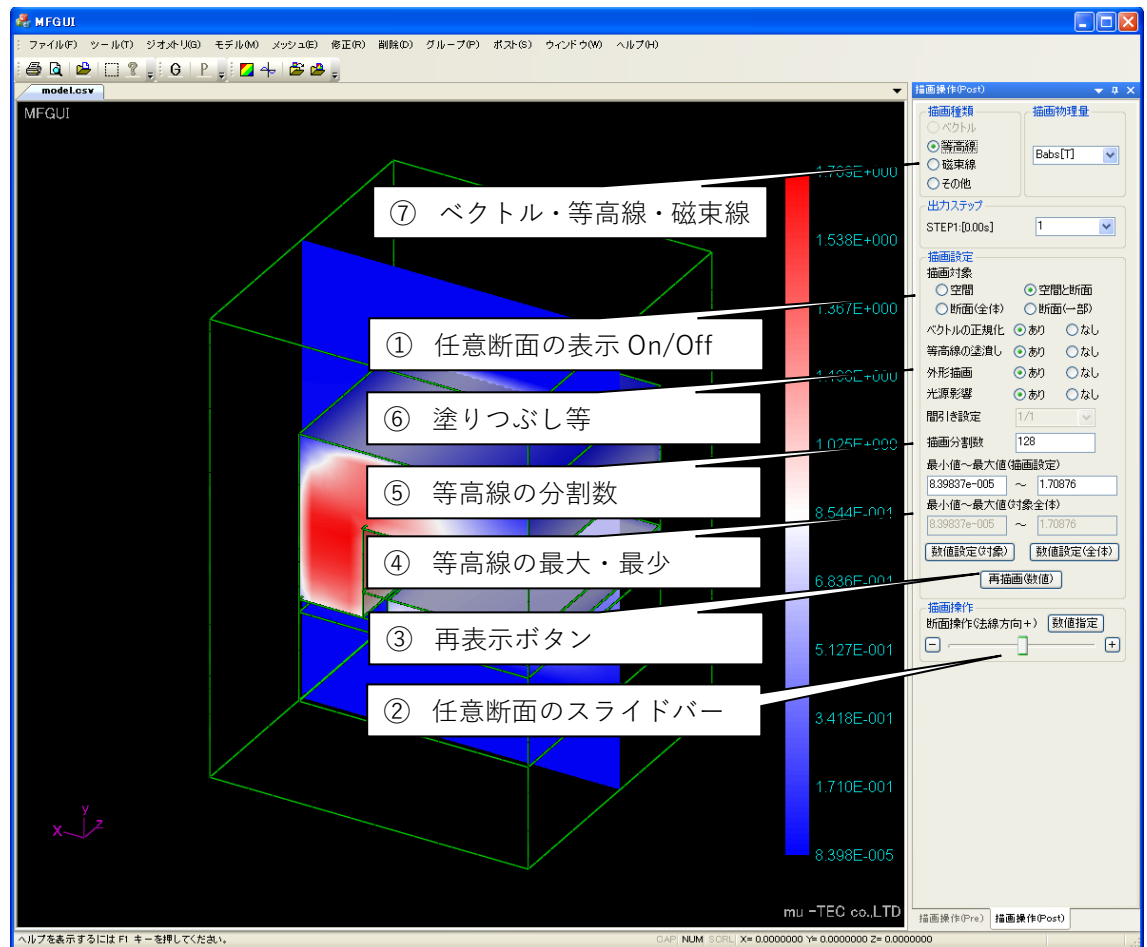
④ 画像のコピーペースト

Ctrl+C で画像のコピーペーストが出来ます

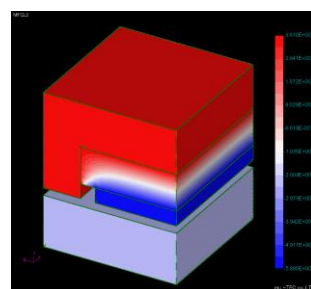
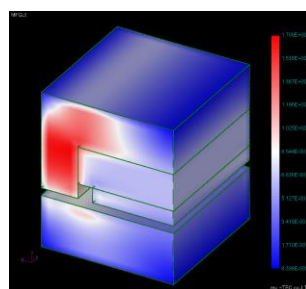
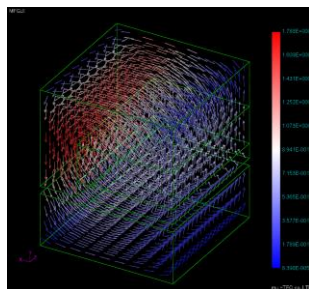
Example61- Result display by MFGUI

3.4 Post 画面の基本操作

よく利用する操作を示します



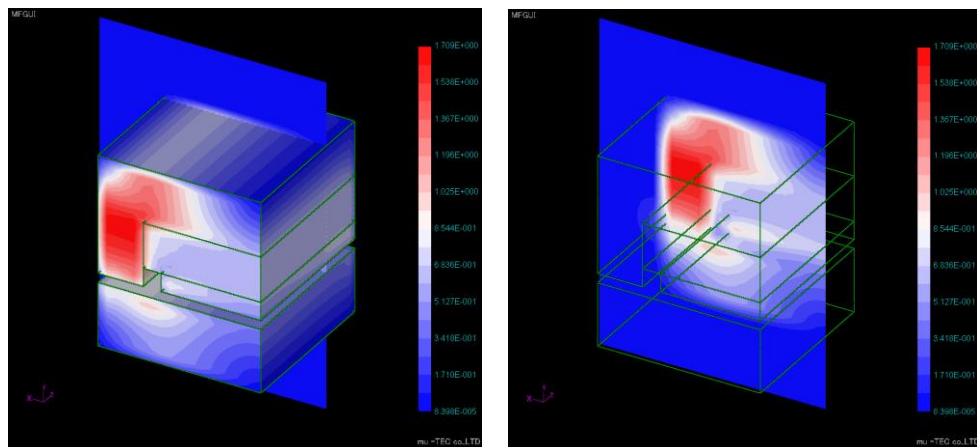
① ベクトル・等高線・磁束線



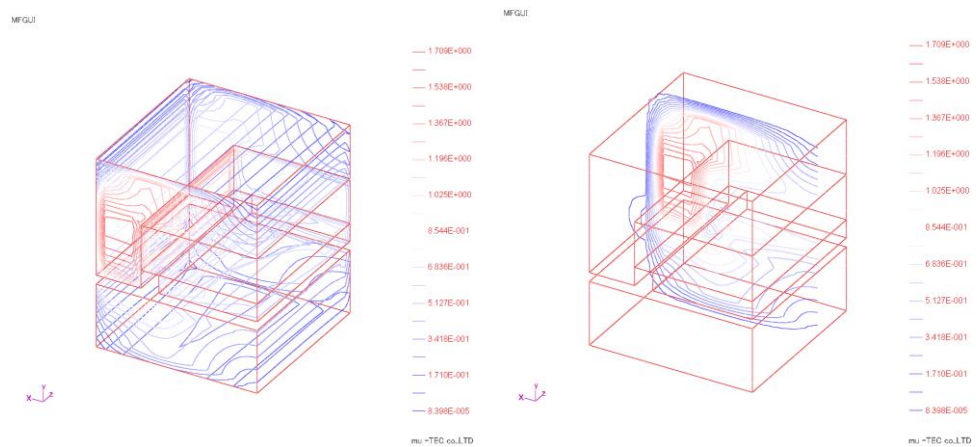
注)3次元では磁束線は表示できません

Example61- Result display by MFGUI

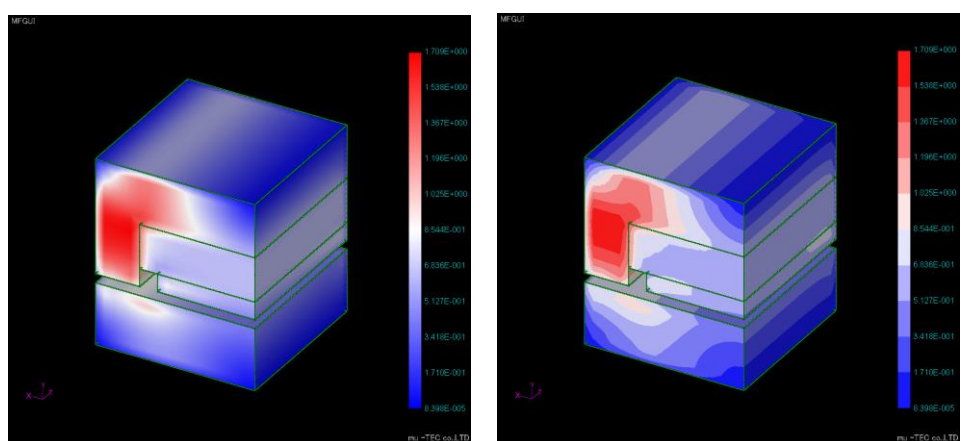
② 任意断面の表示 On/Off



③ 塗りつぶし等

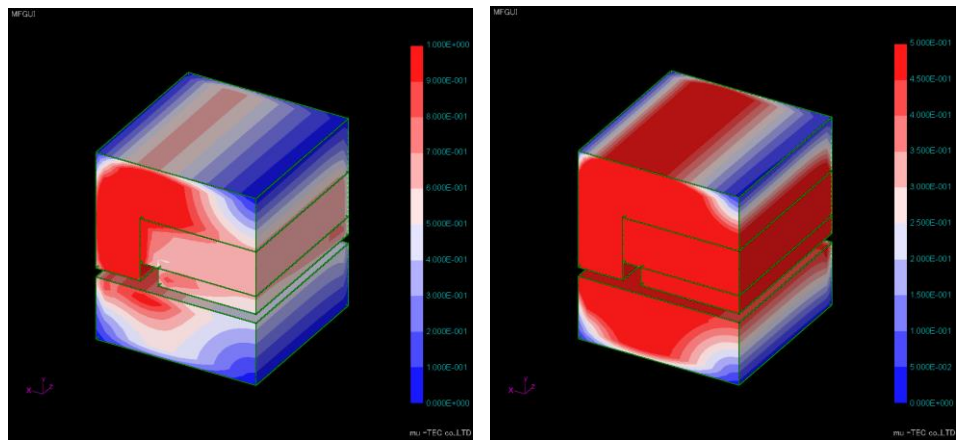


④ 等高線の分割数



Example61- Result display by MFGUI

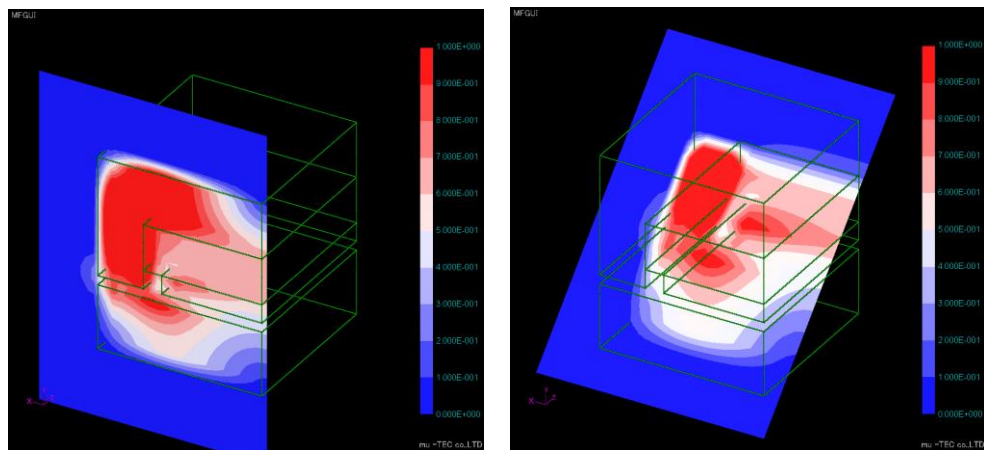
⑤ 等高線の最大最少



⑥ 再表示ボタン

設定条件で Redraw します

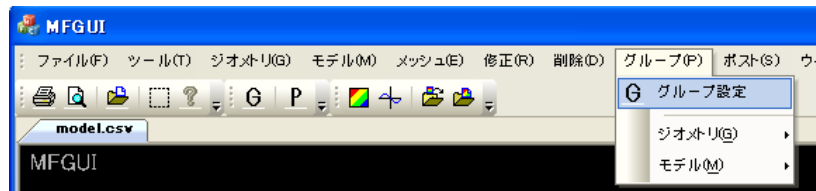
⑦ 任意断面のスライダー



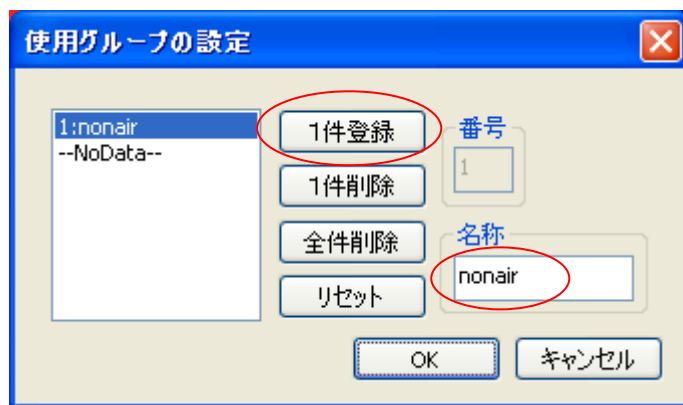
Example61- Result display by MFGUI

3.5 グループピング

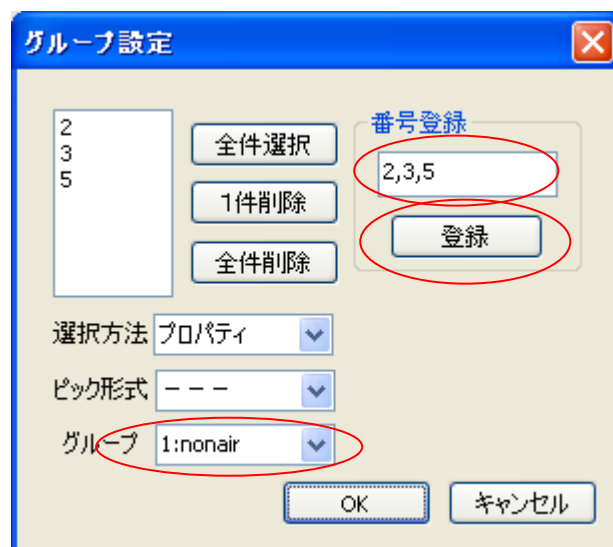
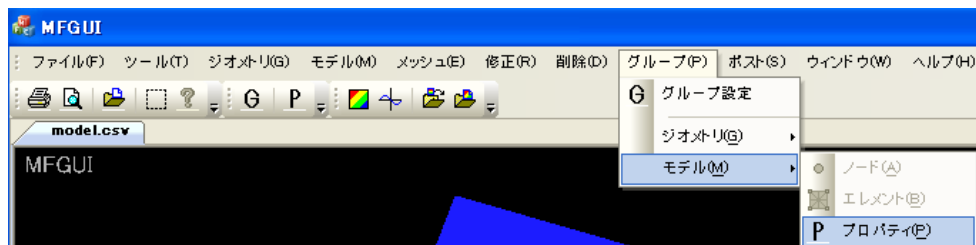
プロパティ毎に表示は出来ませんが、例えば空間以外を表示したいとき、空間以外をグループピングして、グループ毎に結果表示します



グループ名を指定して登録します

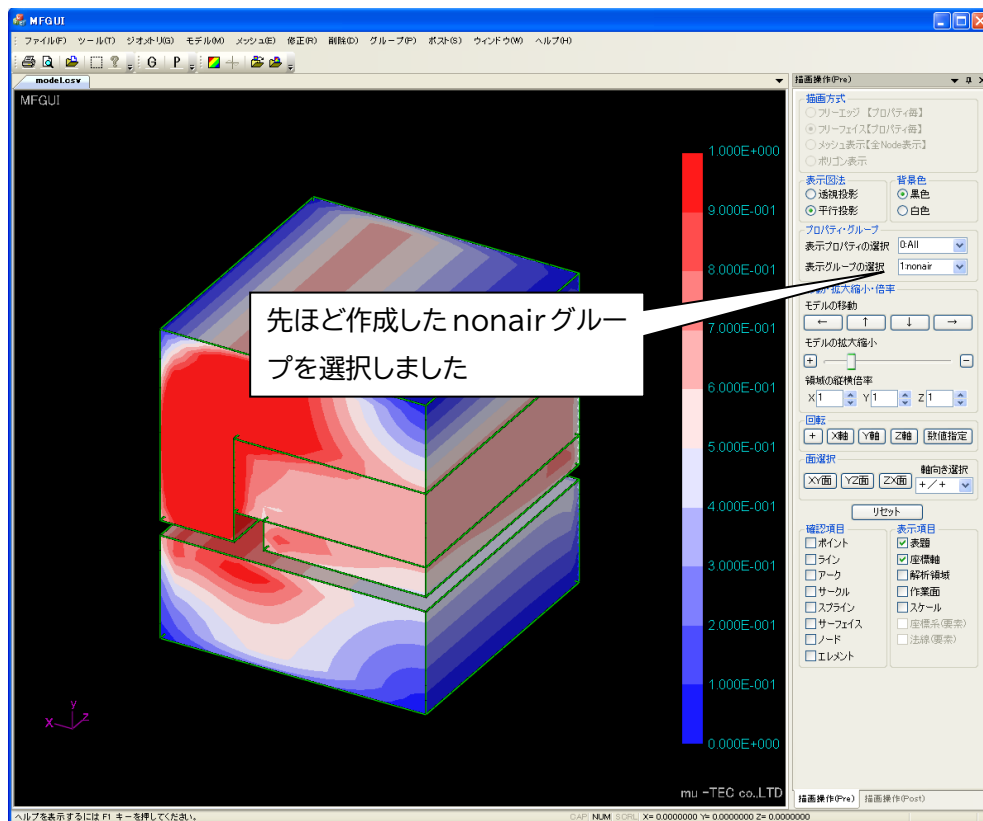
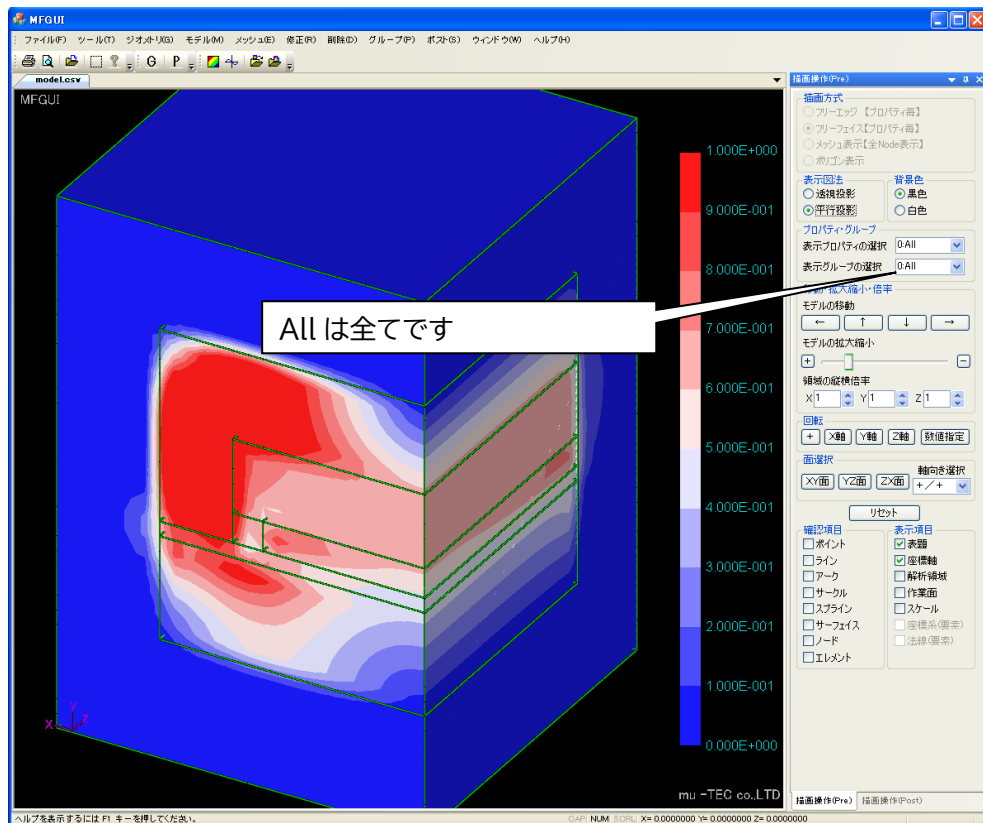


登録したグループ名にプロパティを登録します



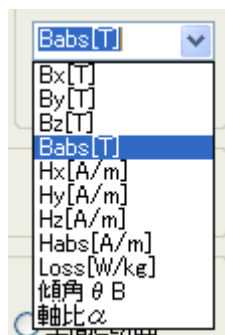
Example61- Result display by MFGUI

グループ毎の表示(Pre 操作画面で行います)

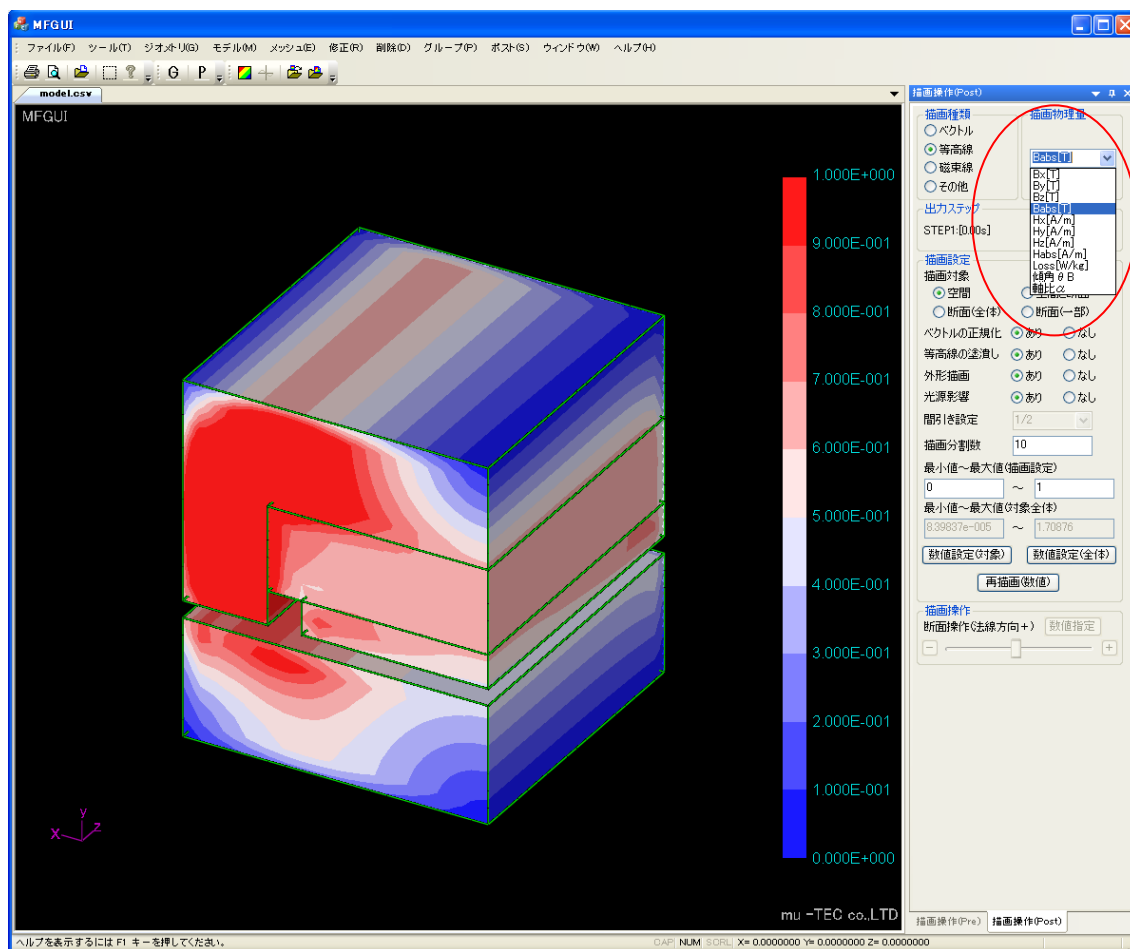


Example61- Result display by MFGUI

3.6 等高線



物理量を選択出来ます(Loss 以下は出来ません)



Example61- Result display by MFGUI

3.7 ベクトル

描画種類
☒ ベクトル
☐ 等高線
☐ 磁束線
☐ その他

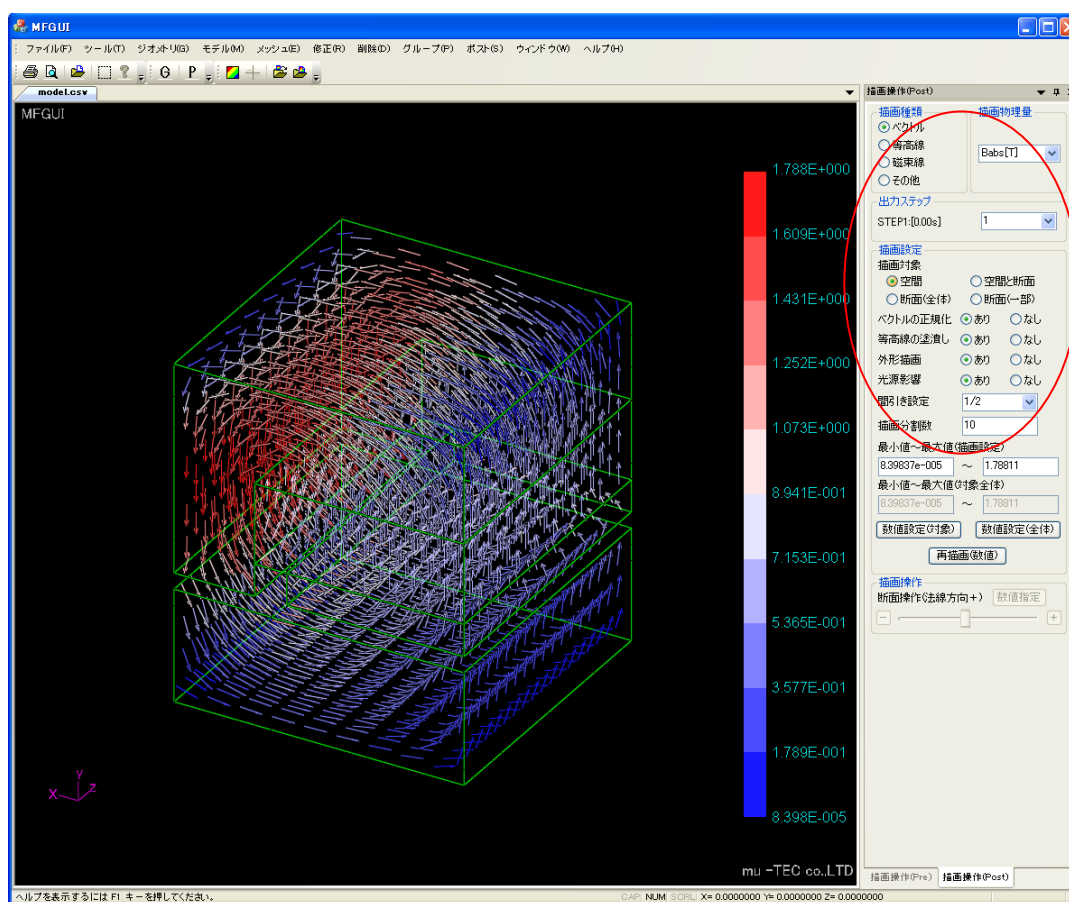
描画物理量
Babs[T]

出力ステップ
STEP1:[0.00s] 1

描画設定
描画対象
☒ 空間 ☐ 空間と断面
☐ 断面(全体) ☐ 断面(一部)

ベクトルの正規化 ☒ あり ☐ なし
等高線の塗潰し ☒ あり ☐ なし
外形描画 ☒ あり ☐ なし
光源影響 ☒ あり ☐ なし
間引き設定 1/2

描画対象を空間にするとベクトルが描けます。間引きで機能で、ベクトルの表示粗密を指定できます。



Example61- Result display by MFGUI

3.8 磁束線

ポテンシャルの等高線になります。2次元解析では磁束線になりますが、3次元では表示できません(表示は磁位の等高線です)

3.9 任意断面

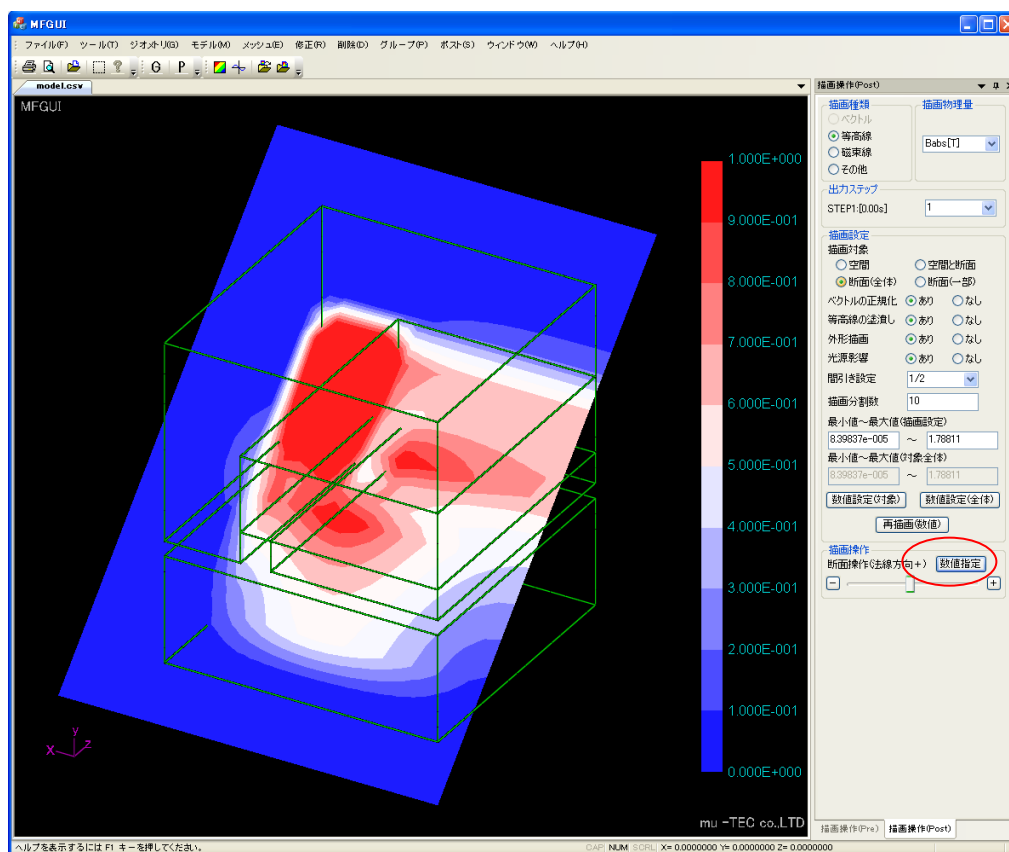
断面方法
<input type="radio"/> 1点と法線
<input checked="" type="radio"/> 3点

断面指定			
1点目	0.0000000	-0.6084000	0.6084000
2点目(or法線基点)	1.0000000	-0.6084000	0.6084000
3点目(or法線先端)	0.0000000	0.3916000	1.6084000

OK キャンセル

3点の座標で定義でき

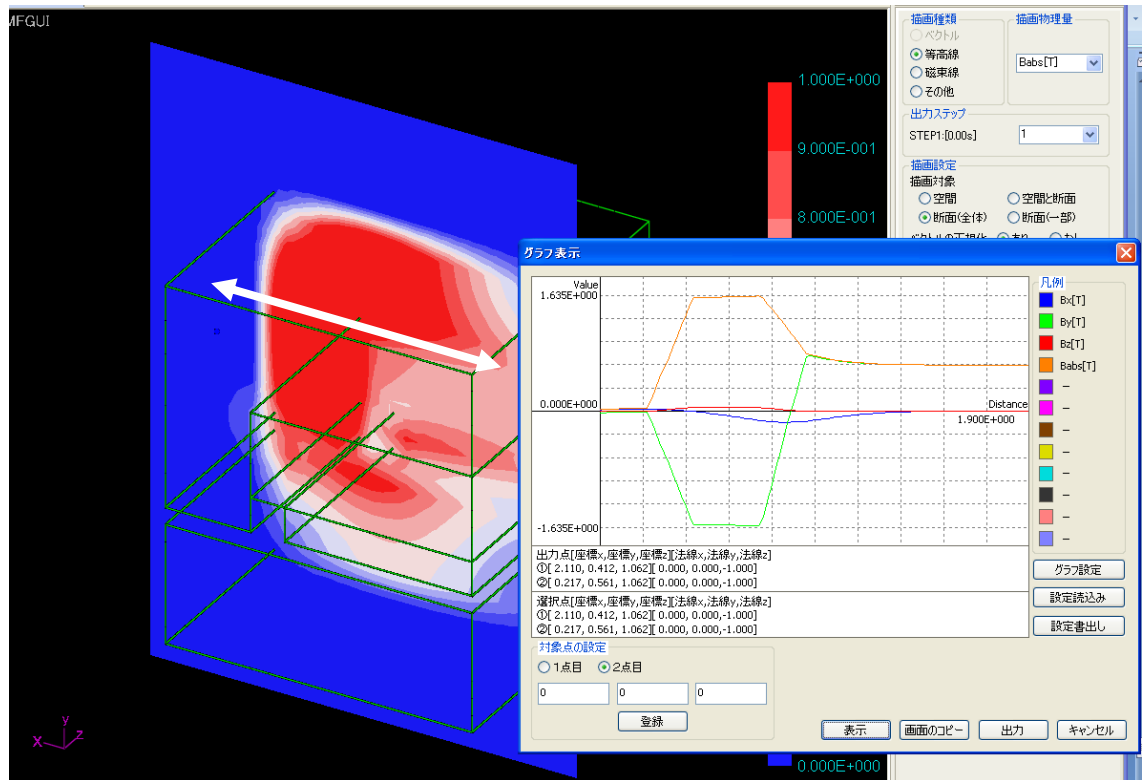
る任意の断面の等高線が表示でき、スライダーで位置を変えられます



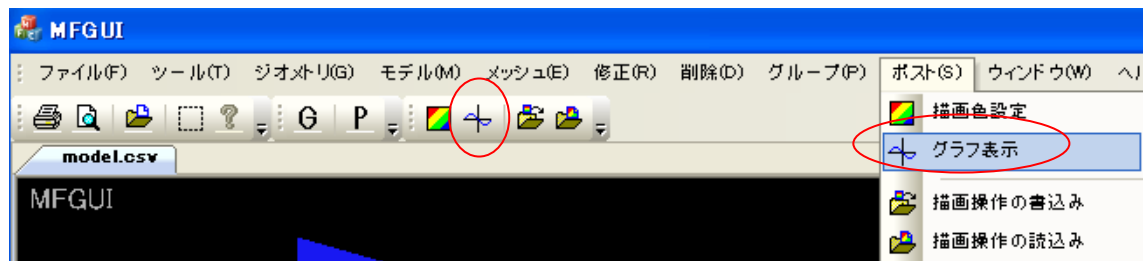
Example61- Result display by MFGUI

3.10 グラフ表示

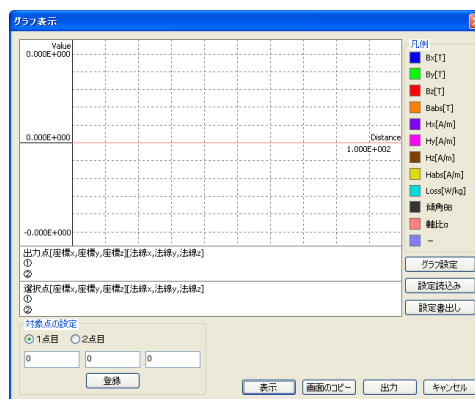
指定した2点間の結果グラフを表示します



トップメニューからグラフ機能を選択します(またはアイコンで)

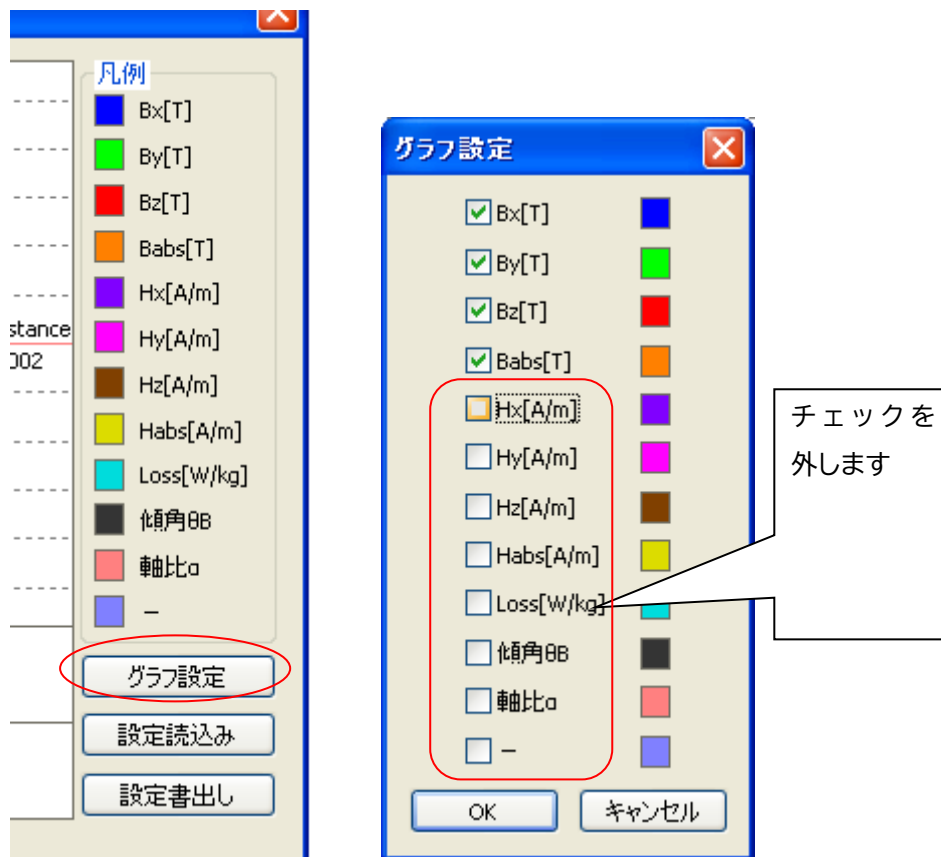


グラフダイアログが表示されます



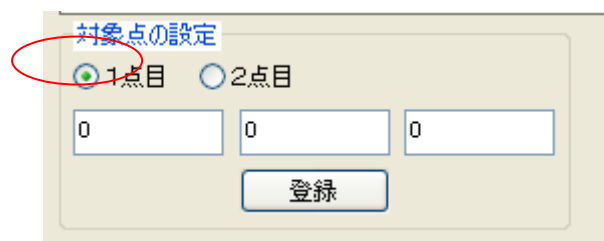
Example61- Result display by MFGUI

表示する物理量を選択します

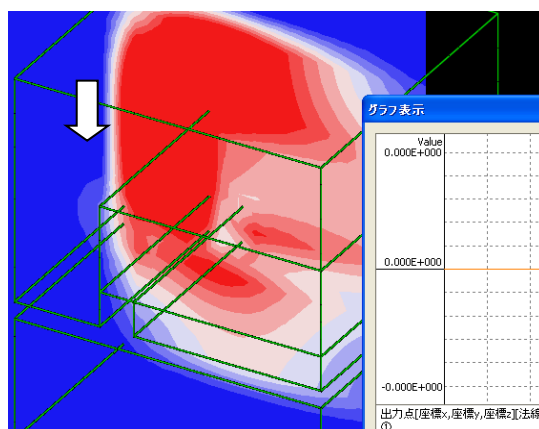


任意断面内の2点を指定します

1点目をチェックして

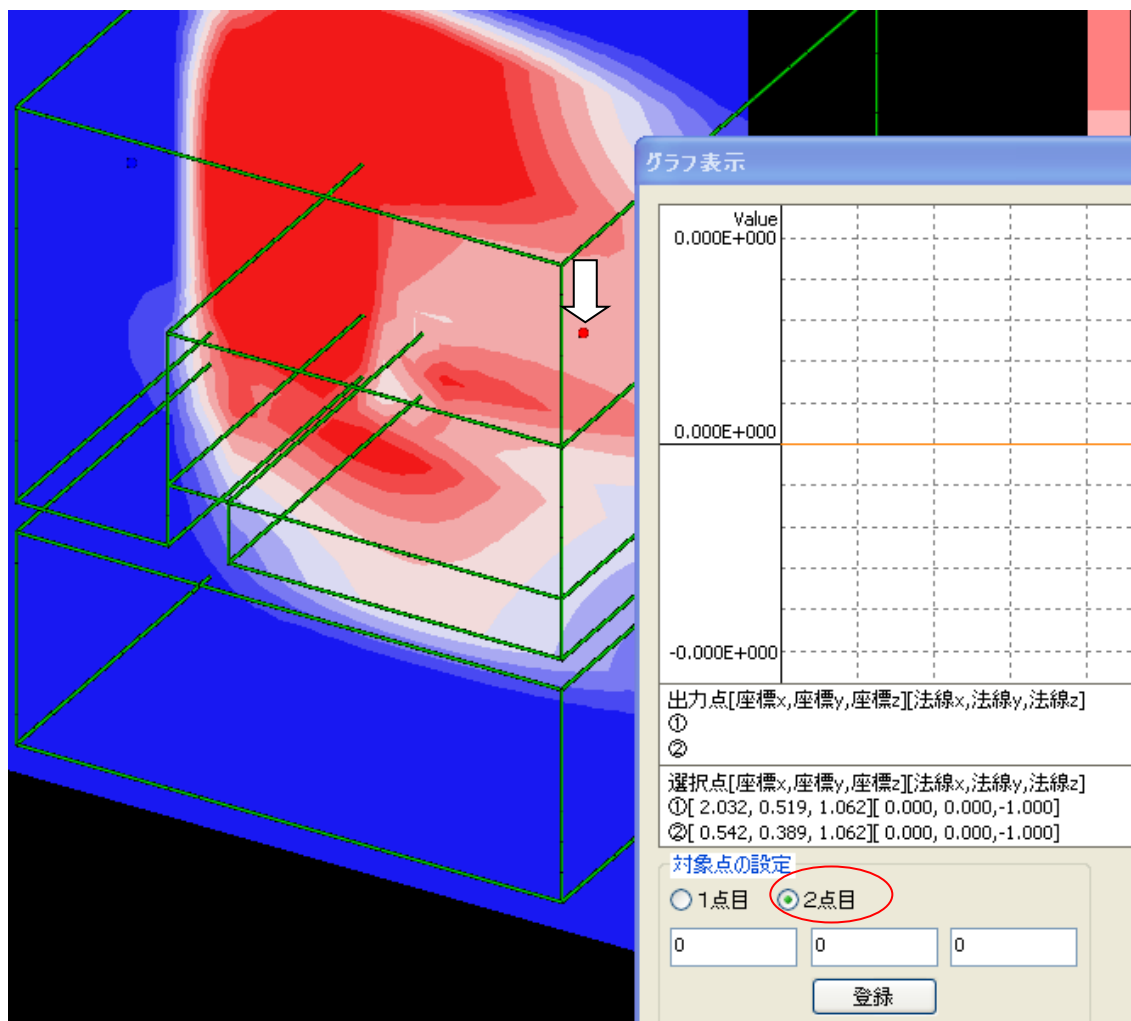


任意断面上の一点をピックします

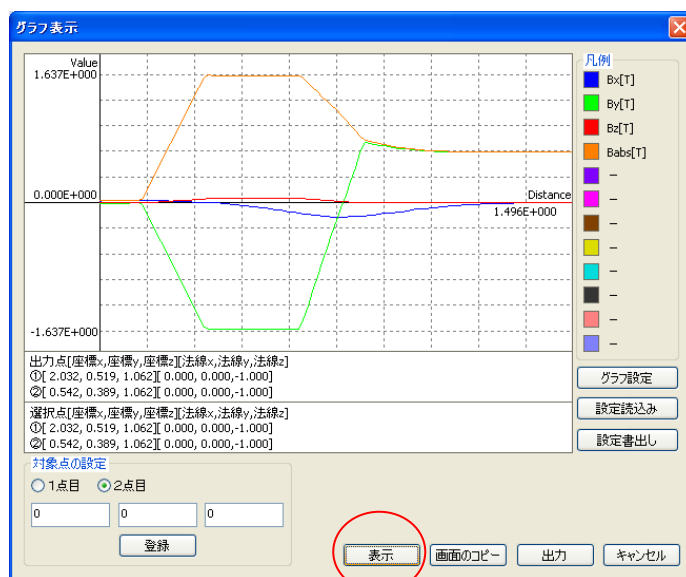


Example61- Result display by MFGUI

2点目をチェックして、断面上をピック

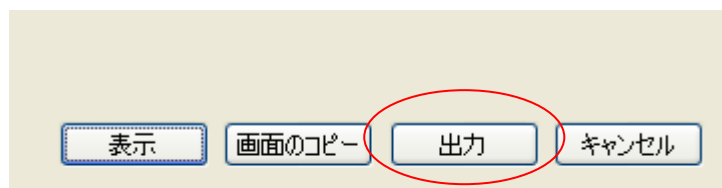


表示ボタンを押してください

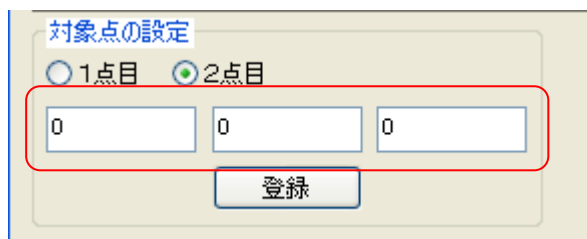


Example61- Result display by MFGUI

- ① 出力ボタンでグラフデータが csv 出力されます(点数は100点で固定です)



- ② 1点目2点目の座標値は、座標入力も可能です、その場合任意断面上でなくて構いません



3.11 終了

